

令和 6 年度事業報告書

公益目的事業：精神障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう支援する事業

1 自主事業 「熊本県あかねの里の運営事業」

- ① 利用審査会：8回
- ② 事業運営委員会：5回

(1) あかね荘事業

① 短期入所事業

事業内容：居宅において障がい者の介護を行っている人が、一時的に介護できなくなった場合に、その障がい者を施設に短期間宿泊させ、入浴や食事等、日常生活上の支援を提供する事業を行いました。受入れはありませんでした。

実績：延0人（実数0人）の方が利用

② 自立訓練（生活訓練）事業

事業内容：施設や病院から地域生活への移行や地域生活を送るうえで必要な生活能力の維持、向上を図るため、洗濯・整理整頓などの日常生活能力、金銭・服薬管理の訓練や支援等を宿泊または通所により行いました。

実績：延べ6,844人（実数38人）、宿泊での延べ利用者9,056人（実数38人）方が利用し、うち8人が地域で自立した生活を送っています。

③ 相談支援事業

一般相談支援事業

事業内容：広く一般の方（障がい者、家族等）からの、相談に対し、専門の相談員が電話相談、面談、関係機関との連絡調整等、地域で自立して生活するために必要な支援をする事業を行いました。

実績：延べ1,460人の方が利用

(2) あかねワークセンター事業

① 就労継続支援（B型）事業

事業内容：一般就労が困難な方に、就労や生産活動の機会を提供し、働く為に必要な技術や技能、習慣性の習得やコミュニケーション・体力等の向上を図りながら、目的を持って地域の中で生活ができるように支援する事業を行いました。作業は印刷作業、製菓作業、製靴作業、軽作業等を行いました。

実績：延べ4,782人（実数27人）の方が利用

② 多目的ホール開放事業

事業内容：施設内の多目的ホールを利用してもらうことにより地域住民に障がい福祉サービス事業所に対しての偏見や差別を是正してもらい地域と精神障がい者や障がい福祉サービス事業所との共生を図ることで、精神障がい者の地域生活への移行をスムーズに行えるよう、多目的ホールを広く一般の人や教育機関等に低額な利用料で開放しています。

実績 : 利用者数 1,202 人 10 団体が利用

(3) あかねホーム事業

① 共同生活援助事業（グループホーム）

事業内容 : 地域において自立した日常生活を送るため、夜間や休日を含め、共同生活を営む住居において、家事、食事、相談などの日常生活上の援助を行う事業。

実績 : 延べ 2,879 人（実数 9 人）、の方が利用

2 委託事業：次の事業を熊本県・熊本市から受託している。

(1) 精神科救急情報センター事業

事業内容 : 精神科救急情報センターでは、休日夜間において、緊急に精神科医療を要する精神障がい者やその家族等からの電話相談に対応し、必要な助言や医療機関紹介などを行いました。

精神科救急情報センターは、県内の精神科病院が当番制で相談員（当該病院の看護師や精神保健福祉士等）と専門的にバックアップする医師を配置し、的確な対応ができる体制としました。さらに、当法人の自主的な業務として、相談内容の統計分析を行い、結果はホームページに掲載及び参考のため県にも提供しました。また、相談員の対応能力向上のための研修会等にも活用しております。

実績 : 令和 6 年度相談対応件数 2,286 件

精神科救急情報センター相談員研修の実施

令和 6 年 9 月 3 日（火）熊本県庁地下大会議室 参加者 74 名

(2) 精神科二次救急医療事業

事業内容 : 休日・夜間における精神疾患の急激な発症や精神症状の悪化等により、緊急に医療を必要とする精神障がい者等に対応するため、県内全精神科病院が輪番制で当法人の業務として事業を行いました。本事業は、外来対応だけではなく、重症の精神科救急患者への入院対応ができるよう、輪番病院に空床を 1 床確保しました。

実績 : 令和 6 年度救急患者数 1087 件（助言指導 505 件、外来受診 292 件、入院 247 件、その他 43 件）

その他事業 1 : 会員である精神科医療機関の相互支援事業

1 講演会・研修会事業（精神保健医療福祉従事者の人材育成及び教育研修事業）

事業内容 : 精神科医療の向上のため会員間の知識の共有・問題点の把握等を目的として、会員医療機関を対象に講演会研修会事業を行いました。

- (1) 院長会 年 6 回開催 (5/30、7/18、9/19、11/14、1/16、3/26)
: 院長に対して理事会、各委員会、日精協、さらに医師会等からの情報提供及び意見交換を行いました。
- (2) 学術研修小委員会 学術講演会を年 5 回開催
: 製薬会社等との共催で精神科医療についての学術講演会を企画開催しました。
- (3) 看護部小委員会 研修会を年 3 回開催
: 会員医療機関に勤務する看護管理者等を対象に看護に関する専門分野の研修会を実施しました。また、九精協各県看護部長等代表者会議や熊本県精神科情報センター研修会へ役員派遣を行いました。
- (4) 栄養部小委員会 研修会を年 2 回開催
: 会員医療機関に勤務する管理栄養士等を対象に栄養に関する専門分野の研修会を実施しました。非常食提供マニュアルにもとづき、災害時に連携をとれるよう圏域ごとに実地訓練を行いました。
- (5) コ・メディカル部小委員会 研修会を年 2 回開催
: 会員医療機関に勤務するコ・メディカルスタッフ等を対象に専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (6) 薬剤部小委員会 研修会を年 1 回開催
: 会員医療機関に勤務する薬剤師等を対象に薬剤に関する専門分野の研修会をオンラインで実施しました。
- (7) 事務長会 研修会を年 3 回開催
: 会員医療機関に勤務する事務長等を対象に診療報酬改定等について研修会を実施しました。
- (8) その他
: 熊本県・熊本市等の開催する会議等への参加を通じ、当協会の精神保健医療福祉に関する取り組み、考え方等について情報発信、情報提供を行いました。

2 機関紙「熊精協会誌」発行事業（精神保健医療福祉に関する普及及び啓発事業）

- 事業内容 : 会員相互間の情報交換や学術広報を目的として理事会議事録、学術講演録等を掲載した機関紙「熊精協会誌」を年に 4 回発行（発行部数 350 部）し、会員及び関係機関に配布しました。熊精協ホームページで会員相互間の情報提供や各種事業の広報をホームページで行いました。
- 協会誌編集委員会 5 回開催 (4/24、6/5、9/4、12/4、3/5)

3 精神障害者リハビリ事業

(1) くませいフェスタ事業（くませいフェスタ実行委員会）

- 事業内容 : 会員医療機関の相互交流や精神障がい者のリハビリの一環として会員医療機関に入院している精神障がい者を対象としたレクリエーション大会(第 19 回くませいフェスタ)を実施しました。
- 令和 6 年 10 月 8 日（火）ウイングまつばせ

UDe-sports 参加者約 360 名

実行委員会 2 回 (2/28、5/14)

担当者会議 1 回 (6/4)

(2) 作品展示への事業協力

- ・「第 60 回熊本県精神保健福祉大会」における作品展示に協力
令和 6 年 11 月 8 日 (金) くまもと森都心プラザ
- ・「心の健康フェスタ (第 30 回精神障がい者作品展示事業)」における作品
展示に協力 (看護部小委員会、コメディカル部小委員会)
令和 6 年 12 月 1 日 (日) 下通アーケード内

4 災害時精神科医療機関支援事業

- 事業内容 : 県内外における大規模災害を想定し、精神障害者の医療支援や被災者のこ
ころのケアを行う精神科医療機関の研修、人材育成、災害対応機器の整備等
を行う。
- ・熊精協災害対応訓練の実施 (情報伝達) (4/16、8/1、12/2)
 - ・熊精協ネットワークシステム (EMIS、LINE、KEMIS 等) の利活用
 - ・熊本 DCAT (災害派遣福祉チーム) 連絡会 2 回、隊員スキルアップ研修会
1 回へ参加。

その他事業 2 : 県・市からの委託事業

1 精神障害者搬送業務

事業内容 : 精神疾患の急発または急変のため医療及び保護を必要とする者に迅速かつ
適切な医療を提供するため、措置入院患者、医療保護入院患者を医療機関へ
搬送する業務を行いました。

実 績 : 県内 2 件 (うち熊本市 2 件)

2 精神障がい者地域移行支援事業

事業内容 : 退院可能精神障害者に対し地域移行支援員が支援活動をする際に困らない
よう、アドバイザーを配置し相談に応じる事業を行いました。

実 績 : 地域体制整備アドバイザー配置事業
熊本市関係 3 名配置

その他事項 : 関連団体への支援事業他

1 関連団体への支援事業

熊本県精神科病院協同組合等への協力支援を行いました。

- (1) 熊本県精神科病院協同組合
 - ・「あかねクリーン」に対する営業協力等
- (2) 熊本県精神保健福祉協会の事業
- (3) 熊本県精神保健福祉センターの事業

2 共催・後援

- ・ギリアド・サイエンシズ（株）鹿児島県・熊本県 COVID-19 Web Seminar の後援（(06/5/30)
- ・第 49 回日本精神科看護学術集会の後援（06/6/28,29）
- ・第 52 回熊本県精神障がい者家族大会の後援（06/9/13）
- ・第 60 回熊本県精神保健福祉大会の後援（(06/11/8）
- ・認知症市民フォーラム in うき 2024 の後援（06/11/16）
- ・平成 6 年度熊本県地域精神障がい者スポレク大会（第 31 回ふれあいピック）の後援（06/11/29）
- ・こころの健康フェスタ「第 30 回精神障がい者作品展示事業」の共催（06/12/1）
- ・第一三共（株）熊本県の不眠を考える会の共催（07/2/13）

3 各関係機関との連携

関係機関等の要請に応じ、各種審査会や協議会等への協力支援を行いました。

- （審査会等への出席） 熊本県精神医療審査会など
- （会議等への出席） 熊本県医療審議会、熊本県自殺対策連絡協議会など
- （研修等への協力） 熊本県弁護士会の研修会など
- （医師等の推薦） 心神喪失者等医療観察法に基づく精神保健判定医の推薦など
- （その他） くまもと自殺予防医療サポートネットワーク事業

4 九精協・日精協及び関連機関の事業支援

- (1) 九精協
- (2) 日精協熊本県支部
 - 熊本県四病院団体会長・支部長懇談会（ホテル日航熊本）（07/1/17）
 - 熊本県四病院団体合同研修会(ホテル日航熊本）（07/3/7）

5 その他

- (1) 会員の入会・退会について
 - 入会：なし
 - 退会：熊本ファミリーメンタルクリニック（06/9/30）
- (2) 要望等について
 - 特になし

1 学術講演会

	開催日	演題	講師
1	R6年7月18日	抑うつ症群の治療を再考する	山口県立こころの医療センター 院長 兼行 浩史先生
2	R6年9月19日	VR-SSTの活用方法を考える～患者さんの声と使用感～	医療法人山田会 八代更生病院 院長 阿部恭久先生、作業療法士 吉野幸二先生
		急性期治療を再考するー都立松沢病院における拘束削減とその先にあるものー	地方独立行政法人 東京都立病院 機構 東京都立松沢病院 精神科 部長 今井淳司先生
3	R6年11月14日	認知症治療の進展とこころのケア：抗Aβ抗体薬を含む最新アプローチ	福岡大学病院 精神神経科 講師 飯田仁志先生
4	R7年1月16日	実臨床における遅発性ジスキネジアのスクリーニングと鑑別	特定医療法人佐藤会 弓削病院 渡邊哲也先生
		遅発性ジスキネジア治療薬をどう臨床に活かすか～エビデンスと長期観察の重要性～	久留米大学 神経精神医学講座 高次脳疾患研究所 講師 佐藤 守先生
5	R7年3月26日	のぞえの丘病院における統合失調症をもつ患者への地域生活支援	医療法人コミュノテ風と虹 のぞえの丘病院 院長 堀川直希先生

2 研修会

(1) 看護部小委員会

	開催日	会場	内容
1	R6年4月27日 第85回看護管理者研修会	くまもと県民交流館パレ ア	演題「いろいろな視点から看護管理者を考えてみよう」 講師：株式会社ここから 代表取締役 村本好孝先生
2	R6年10月24日 第86回看護管理者研修会	オンライン研修会	演題「看護管理の基礎 リーダーシップ、スタッフへの伝え方」 講師：社会福祉法人愛成会 理事長 仲野 栄先生
3	R7年3月8日 第87回看護管理者研修会	熊本市国際交流会館	演題「看護管理の基礎 ～多様性を尊重するとは～」 講師：株式会社ここから 代表取締役 村本好孝先生

(2) 栄養部小委員会

	開催日	会場	内 容
1	R6 年 7 月 4 日	嘉島リバゾン組合会館	演題「精神疾患の基本的な病態について」 講師：独立行政法人 国立病院機構 菊池病院 院長 山下建昭先生 演題「向精神薬と食事の関係について」 講師：医療法人山田会 八代更生病院 薬剤師 根岸大喜先生 グループワーク
2	R7 年 2 月 18 日	嘉島リバゾン組合会館	演題「精神科における栄養管理」 講師：一般財団法人愛成会 弘前愛成会病院 診療部 栄養科長 石岡拓得先生 ワールド・カフェ「おいしい病院食」

(3) コ・メディカル部小委員会

	開催日	会場	内 容
1	R6 年 7 月 30 日 第 64 回研修会	オンライン研修会	演題「アルツハイマー型認知症の診療、最近のトピックス」 講師：くまもと青明病院 認知症疾患医療センター センター長 兼田桂一郎先生
2	R7 年 2 月 28 日 第 65 回研修会	オンライン研修会	演題「女性の貧困ーその現状と支援」 講師：NPO 法人熊本どんぐり 代表理事 松永桂子氏 話題提供 1 「困難な問題を抱える女性への支援について」 熊本県子ども家庭福祉課 ひとり親家庭福祉班 松本貴志主幹 話題提供 2 「女性の貧困」 向陽台病院 院長 比江島誠人先生

(4) 薬剤部小委員会

	開催日	会場	内 容
1	R7 年 1 月 18 日 第 36 回研修会	オンライン研修会	演題「高齢化する精神科救急と悪性症候群」 講師：八代更生病院 佐藤英明先生

(5) 事務長会

	開催日	会場	内 容
1	R6 年 6 月 14 日	ホテル熊本テルサ	演題「熊本市併用レセプトを用いた審査支払機関への委託について」 講師：熊本市障がい福祉課 鎌憲一主幹、中山哲宏参事 熊本市こども支援課 木庭安浩主幹、深水あかり主任主事 演題「改正障害者差別解消法の施行等について」 講師：熊本県障がい者支援課 児玉秀幸広域専門相談員
2	R6 年 9 月 20 日	オンライン研修会	令和 6 年度診療報酬改定について情報交換
3	R7 年 2 月 21 日	オンライン研修会	演題「医療機関におけるサイバーセキュリティ対応について」 講師：一般社団法人ソフトウェア協会 副会長・インターバルリンク株式会社 代表取締役 萩原健太先生 情報交換「外国人（特定技能と技能実習生）受け入れの実際」 桜が丘病院 鹿子木裕二事務局長

令和6年度 事業実績

1 事業運営

事業種別	事業所名	事業内容
第2種社会福祉事業 (障害福祉サービス事業の経営)	熊本県あかね荘	自立訓練(生活訓練)事業 (定員40人)
		宿泊型自立訓練事業 (定員40人)
		短期入所事業 (定員2人)
	熊本県あかねホーム	共同生活援助事業 (定員10人)
	熊本県あかねワークセンター	就労継続支援B型事業 (定員30人)

2 月別利用者実績

月別 利用者数	あかね荘		あかねホーム		あかねワークセンター		計	
	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
月	人	人	人	人	人	人	人	人
4	56	46	10	9	26	24	92	79
5	56	52	10	9	26	23	92	84
6	49	50	9	9	25	23	83	82
7	45	52	9	9	25	23	79	84
8	44	53	9	9	26	21	79	83
9	46	54	9	9	26	23	81	86
10	40	55	9	8	26	22	75	85
11	38	58	9	8	25	21	72	87
12	36	56	9	8	26	21	71	85
1	42	56	9	8	26	21	77	85
2	44	54	9	7	26	21	79	82
3	42	54	8	8	24	20	74	82
計	538	640	109	101	307	263	954	1004
平均利用者数	45	53	9	8	26	22	80	84

* 月別利用者数は、自立支援費が日払いであることから、自立支援費請求人数とした。

3 利用率

(単位:人)

事業所名	提供サービス		R4年度	R5年度	R6年度
あかね荘	自立訓練(生活訓練)	延べ利用者	6,633	5,638	6,844
		1日平均利用者	24.7	20.9	25.5
		利用率	61.6%	52.2%	87.7%
	宿泊型自立訓練 短期入所	延べ利用者	8,839	7,501	9,056
		1日平均利用者	24.3	20.5	24.9
		利用率	60.5%	51.2%	85.6%
あかねホーム	共同生活援助	延べ利用者	2,975	3,240	2,879
		1日平均利用者	8.2	8.9	7.9
		利用率	81.5%	88.5%	78.9%

あかねワークセンター	就労継続支援B型	延 べ 利 用 者	5,315	5,738	4,782
		1 日 平 均 利 用 者	19.8	21.3	17.8
		利 用 率	65.9%	70.8%	59.3%
合 計		延 べ 利 用 者	23,762	22,117	23,561
		1 日 平 均 利 用 者	77	71.6	76.1
		利 用 率	64.2%	59.7%	63.4%

* 利用率: 対定員数

4 障害種別利用者数(受給者証標記)

(単位: 人)

	精神	知的	身体	重複	計	
あかね荘	30	3	1	3	37	重複の内訳: 2(知的・精神) 1(身体・精神)
ホーム	9	0	0	0	9	
ワークセンター	24	3	0	0	27	
計	63	6	1	3	73	重複の内訳: 2(知的・精神) 1(身体・精神)

* 人数は実数

5 サービス管理責任者を中心とした個別支援計画に基づく支援の向上

- (1) 利用者の希望や意向を重視した個別支援計画の策定
- (2) 個別支援計画に基づく統一支援の徹底
- (3) 利用者の人格尊重に基づいた支援の徹底
- (4) スーパービジョンによる支援の徹底
- (5) サービス管理責任者による各種支援計画の管理と指示系統の徹底
- (6) 相談支援事業所との連携強化

6 見学者の受入実績

月	機関数(箇所)	人数(名)	備考
4	1	2	利用希望者、行政機関、精神科病院、教育機関等からの見学 前年度比、機関数で-25ヶ所(-58%)、人数で-80名(-60%)でした
5	1	2	
6	1	3	
7	2	7	
8	1	2	
9	2	7	
10	3	10	
11	3	10	
12	2	5	
1	0	0	
2	0	0	
3	2	6	
計	18	54	
1ヶ月平均	2	5	

* 毎週水曜日午後2時から見学会を実施している。

7 職員配置基準数(令和6年4月1日現在)

専従・兼務の別	あかね荘		あかねホーム			あかねワークセンター		
	常勤・専従	常勤・兼務	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従	常勤・専従	常勤・兼務	パート・専従
管理者		1		1			1	
サービス管理責任者		2		1			1	
地域移行支援員		12						
生活支援員						3	1	
看護職員		1						
職業指導員						1		
目標工賃達成指導員						1		
世話人				7				
事務員		1						
実人数	22							

* 職員配置については、各事業の定員数に応じた人員配置を行っている。

8 住居について

[illegible]

	退所後の住居について(R6年度訓練終了者)								
	自宅・アパート等		グループホーム	福祉ホーム	共同住居	入所施設	精神科病院	その他	合計
	単身生活・結婚等の自立生活	親・兄弟等に扶養された生活							
あかね荘	0	0	8	0	0	1	2	1	12
あかねホーム	0	0	0	0	0	0	1	0	1

9 日中活動について

	退所後の日中活動について(R6年度訓練終了者)								
	就労		B型事業所	就労移行	病院デイケア	入所施設	精神科病院	その他	合計
	一般の事業 者に雇用(障 害者雇用含 む)	A型事業 所							
あかね荘	0	0	3	0	4	1	2	2	12
あかね ホーム	0	0	0	0	0	0	1	0	1
あかねワー クセンター	0	0	0	0	0	0	1	3	4